

# 「シンガポール賃金動向」

～2009年の基本給賃上げ率は1.5%～

三菱東京UFJ銀行  
国際企画部CIBグループ

賃金動向関連資料としてデータを提供いたします。ご参考となれば幸いです。

## 1. 企業の基本給賃上げと賞与支給の動向(調査会社の調査結果)

シンガポール人的資源研究所(SHRI)とレミュレーション・データ・スペシャリスト(RDS)が2009年1月に共同で実施した調査結果(回答社数208社、以下『調査結果』)によると、シンガポール企業の賃上げ率は2008年の実績4.7%、2009年の見込み1.5%となっている。また、賞与支給月数(除くAWS[\*])については、2008年の実績2.0～2.4ヵ月、2009年の見込み1.5～1.7ヵ月となっている。以下に本調査結果の要旨を記載する。

### (1) 賃上げ率、賞与支給月数のサマリー

調査結果によると、昨年・今年・来年の平均賃上げ率、賞与支給月数は以下の通り。

【シンガポール：企業の平均賃上げ率、賞与支給月数(AWSを除く)】

	実績	見込み
	2008年	2009年
基本給賃上げ率	4.7%	1.5%
賞与支給月数(除くAWS)	2.0～2.4ヵ月	1.5～1.7ヵ月

(出所) SHRI、RDS調査結果(2009年1月)より三菱東京UFJ銀行 国際企画部 CIBグループ作成

\*AWS=Annual Wage Supplement。年間補助給与と訳される。シンガポールでは企業によっては「給与の1ヵ月分あるいは2ヵ月分相当をAWSとして支給する」としているケースがある。

### (2) 賃上げ率について

2009年の基本給の賃上げ率は1.5%。2008年の平均賃上げ率4.7%と比べると大幅に低下している。回答企業の38%は、今年の基本給の上げ幅をゼロにしている。なお、基本給をカットすると回答した企業は3%に留まっている。残りの59%の企業は今年、基本給を引き上げる方針である。

業種別では、化学産業の賃上げ率が最も高く2.7～2.9%。最も低いのはエレクトロニクス関連製造業で0.4%である。

【シンガポール：企業の平均賃上げ率】

	実績	見込み
	2008年	2009年
全体の平均賃上げ率	4.7%	1.5%
Managerクラスの平均賃上げ率	4.8%	1.5%
Executivesクラスの平均賃上げ率	4.6%	1.5%
Non-Executivesクラスの平均賃上げ率	4.4%	1.5%

(出所) SHRI、RDS調査結果(2009年1月)より三菱東京UFJ銀行 国際企画部 CIBグループ作成

\*Executivesクラス=専門学校卒業(Diploma)の一般社員、エンジニア等、  
Non-Executivesクラス=経理事務などを担当している社員。

## (3) 賞与(AWSを除く)

2009年の平均賞与支給月数は、1.5～1.7ヵ月と2008年の2.0～2.4ヵ月から低下している。なお、2008年については、マネージャー2.4ヵ月、エグゼクティブ2.1ヵ月、ノン・エグゼクティブ2.0ヵ月である。支給月数が最も多いのは政府系機関の3.1～4.0ヵ月、最も少ないのはエレクトロニクス関連製造業の1.1～1.4ヵ月である。

## 【シンガポール：企業の賞与支給月数(AWSを除く)】

	実績	見込み
	2008年	2009年
全体の平均賞与支給月数	2.0～2.4ヵ月	1.5～1.7ヵ月
Managerクラスの賞与支給月数	2.4ヵ月	1.7ヵ月
Executivesクラスの賞与支給月数	2.1ヵ月	1.6ヵ月
Non-Executivesクラスの賞与支給月数	2.0ヵ月	1.5ヵ月

(出所) SHRI、RDS調査結果(2009年1月)より三菱東京UFJ銀行 国際企画部 CIBグループ作成

※AWS=Annual Wage Supplement。「年間補助給与」と訳される。シンガポールでは企業によっては「給与の1ヵ月分あるいは2ヵ月分相当をAWSとして支給する」としているケースがある。

※Managerクラス=係長クラス、Executivesクラス=Diploma程度のクラス、Non-Executivesクラス=経理事務などを担当している社員。

## (4) AWS

AWSについては、75%の企業が支給する。

## (5) 社員の採用

2008年は63%の企業が社員を採用したが、2009年は社員を採用する企業の比率は40%に低下している。

## (6) 新入社員の給与水準

## 【シンガポール：新入社員の月額給与】

(S\$)

		2008年1月	2008年8月	上昇額
標準教育認定	GCE 'N'	1,050	1,046	-4
普通教育認定	GCE 'O'	1,150	1,200	50
上級教育認定	GCE 'A'	1,253	1,300	47
秘書(秘書資格あり)	PSC (Secretary)	1,500	1,500	0
National ITE証	Nitec	1,200	1,200	0
Higher National ITE証	Higher Nitec	1,300	1,372	72
専門学校(エンジニアリング)	Diploma (Engineering)	1,700	1,700	0
専門学校(その他)	Diploma (Others)	1,600	1,600	0
大卒(エンジニアリング)	Degree (Engineering)	2,500	2,500	0
大卒(その他)	Degree (Others)	2,300	2,350	50
経営学修士	MBA	2,800	2,800	0

(出所) SHRI、RDS調査結果(2009年1月)より三菱東京UFJ銀行 国際企画部 CIBグループ作成

※GCE: General Certificate of Education  
N = Normal, O = Ordinary, A = Advanced

※PSC: Private Secretarial Certificate

※Nitec: National (ITE = The Institute of Technical Education) Certificate

## 2. インフレ率、失業率の動向

賃上げ率検討の要素として、(1)インフレ率、(2)労働力需給、(3)自社の業績、などが考慮されると考えられる。ここでは、(1)の関連データとして「消費者物価動向」、(2)の関連データとして「失業率動向」を掲載する。

【シンガポール:実質GDP成長率、消費者物価上昇率、失業率推移】

	実質GDP 成長率(%)	消費者物価 上昇率(%)	失業率(%)
2003	3.1	0.5	3.8
2004	8.8	1.7	3.0
2005	6.6	0.5	2.6
2006	7.9	1.0	2.6
2007	7.7	2.1	1.6
2008	1.1	6.5	2.8

(出所) CEICより三菱東京UFJ銀行国際企画部CIBグループ作成  
※失業率は季節調整済み

【シンガポール: 品目別の消費者物価上昇率】 (%)

	全体	食費	被服費	住居費	通信・ 交通費	教育関連	保健	レジャー 他
2002	-0.4	0.0	0.2	-2.2	-1.0	1.4	3.2	0.3
2003	0.5	0.6	0.4	-0.5	0.1	2.3	2.0	0.9
2004	1.7	2.0	0.1	-0.1	1.2	4.2	6.0	2.3
2005	0.5	1.3	0.0	0.8	-2.2	2.0	0.4	1.7
2006	1.0	1.6	0.7	2.7	-1.5	1.9	0.9	0.7
2007	2.1	2.9	0.6	0.4	2.0	1.3	4.1	3.2
2008	6.5	7.8	1.5	12.7	3.3	3.4	5.6	3.7

(出所) CEICより三菱東京UFJ銀行 国際企画部 CIBグループ作成

本レポートに関するお問い合わせ先  
国際企画部CIBグループ 北村広明  
E-mail:hiroaki\_2\_kitamura@mufg.jp  
TEL: (東京)03-3240-7864

- ・ 本資料は情報提供を唯一の目的としたものであり、金融商品の売買や投資などの勧誘を目的としたものではありません。本資料の中に銀行取引や同取引に関連する記載がある場合、弊行がそれらの取引を応諾したこと、またそれらの取引の実行を推奨することを意味するものではなく、それらの取引の妥当性や、適法性等について保証するものでもありません。
- ・ 本資料の記述は弊行内で作成したものを含め弊行の統一された考えを表明したものではありません。
- ・ 本資料は信頼できるとされる情報に基づいて作成されていますが、その正確性、信頼性、完全性を保証するものではありません。最終判断はご自身で行っていただきますようお願いいたします。本資料に基づく投資決定、経営上の判断、その他全ての行為によって如何なる損害を受けた場合にも、弊行ならびに原資料提供者は一切の責任を負いません。実際の適用につきましては、別途、公認会計士、税理士、弁護士にご確認いただきますようお願いいたします。
- ・ 本資料の知的財産権は全て原資料提供者または株式会社三菱東京UFJ銀行に帰属します。本資料の本文の一部または全部について、第三者への開示および、複製、販売、その他如何なる方法においても、第三者への提供を禁じます。
- ・ 本資料の内容は予告なく変更される場合があります。